

令和5年度 第3回 前原小学校 学校運営協議会（コミュニティ・スクール委員会）

令和5年 12月15日（金）10：10～12：05

参加したCS委員：梶野さん、村澤さん、伊藤さん、貞平さん、安東さん、  
野崎さん、森田さん

学校参加者：校長 小柳 政憲 副校長 板澤 絢子  
\*会議から参加 主任教諭 石井 美景（けやき祭報告）

開催場所：けやきルーム集合

1 委員長挨拶

忙しい中、集まっていただきありがとうございます。  
それでは、始めていききたいと思います。

2 校長挨拶

こんにちは。子供たちは、運動会やけやき祭、連合音楽会をよく頑張ったと思う。短い時間での行事の開催であったがPTAの方がたにも多大な協力をしていただいた。ありがとうございました。連合音楽会では、本町小は、様々な楽器を使用していた。東小は、子供たちの合唱が素晴らしかった。本校の子供たちは圧倒されていたが、子供たちらしい表現で頑張っていた。

2月に行われる小中連携で自主研究発表会を行う予定である。授業変革のため「活発な対話をする」ということを授業に取り入れて、学習活動を行っている。全員の児童が授業で発言することを目指している。研究発表前の第ゼロ回目を開催する。よろしくお願いいたします。

卒業式・入学式の来賓のことについては、来賓が挨拶を述べる事になった。時間を短縮させたいが、児童の取り組みは行いたいと思う。そこで来賓の呼び方については、「CSの皆様です。」「PTA役員の皆様です。」と紹介をする。子供たちには、地域の皆様に支えられていることを指導する。

令和6年度のことについて。開校60周年記念式典は、令和7年2月21日を第1希望開催としている。第2希望は、令和7年2月14日である。CS方々にご協力をいただくことになる。よろしくお願いいたします。

来年度、小金井市の研究奨励校に選ばれた。来年から2年間の研究。「対話を引き出す授業のあり方」をテーマに研究をすすめていく。

夏休みのプールを中止にする。市内全校で決定した。児童の熱中症、指導後の先生方の熱中症等々。一週間前倒しの水泳指導実施を検討している。

来年度の移動教室について。来年度の移動教室について現在の4年生に向けて市教委から手紙を配布する。

5年生：グローバルゲートウェイの校外学習の予定をしている。

現在、教科担任制の制度を実施するために市教委に申請中である。

本日も、どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 議題

(1) 「けやきステージフェスタ」について (報告者：1年担任 石井 美景主任教諭)

- ・前回のけやき祭 密を避けるために 人数制限等を行った。  
今年度は、優先席を設けて開催した。

・スローガン 六色の花～学年の花を舞台に咲かせよう～

① 1年生 「くじらぐも」

けやき祭の経験が初めて。国語で学んだことを演じることにした。終わったときには、児童は、にこにこ顔だった。「もう一度やりたかった」と言った児童が多かった。

② 2年生 「キッチンパニック」

児童が様々な役になりきって頑張っていた。お休みも多く、代役をする子供もいた。

③ 3年生 「まちいっぱい音楽を」

台本を配られたら一生懸命取り組む姿があった。感情を込めるようにセリフを言った。団結が深まった。

④ 4年生 「本当の宝物」

「自分たちで考えて劇を作ろう」というめあてで取り組んだ。充実した時間を過ごせた。

⑤ 5年生 「冒険者たち」

連合音楽会との練習が並行していた。自分たちで演技を考え、歌の練習も頑張っていた。行事を通して達成感を得られたこと。

⑥ 6年生 「ライオンキング」

実行委員会を中心に場面ごとに練習を行った。セリフを付け加えたりした。照明、音楽を練習した。お互いを輝かせたいという児童の思いがあった。下級生が6年生の演技の素晴らしさを話していた。

- ・校長先生がけやき祭の大きな行事への取り組みを「本気で取り組もう、わくわくしながら練習しよう」と子供たちに伝えていたとおりになっていた。
- ・PTAの方々の大きな支援ありがとうございました。

CS 貞平：入れ替えしなくて大丈夫であるか？と不安があった。しかしながら、大きな問題はなかった。地域の方はわりとルールに則って鑑賞することができていたのではないかな。

CS 伊藤：箱席が埋まっていた。ずっと座っている人がいた。コロナ前の感覚で座っていた人がいたのではないかな。外階段に並んで待っていた。階段が腐っている？中の鉄骨が見えている？という話を前に聞いたことがある。長時間、外階段に並ぶのは危ない。心配していた。

CS 貞平：階段の件は、当日に聞いた。階段で待つのは、控えたいと感じていた。雨天時の待ち方等を考えた。

CS 伊藤：授業中だから室内で待てないのではないかな。

CS 梶野：階段のチェックは入っているのかな。

学校長：確認します。

CS 伊藤：1年生は、みんな可愛かった。みんな体育着で自分のお子さんを見つけるのに苦労したのではないか。

CS 村澤：楽しいにつきました。

CS 伊藤：6年生は初日緊張していたのか、初日より保護者鑑賞日の演技が良かった。

CS 校長：保護者鑑賞日が一番子供たちのできがよかった。3回行って、演技がよくなっていた。

CS 森田：放課後子ども教室で子供たちが自分の役を見せてくれたが、6年生は一切話に来なかった。終わると校庭でも子供たちの表情が良くなる。自信がつくのか穏やかな表情になる。苛ついて友達を罵倒する言葉がこの1ヶ月くらいなかった。心が満たされると、喧嘩しても相手を許せるようになるのではないか。他学年に優しくなる。それを今回も感じる事ができた。先生方のご苦労、PTAのご苦労が大変だったのではないか。

学校長：自転車での来校を禁止したが、PTAの方々から自転車での来校について気にしてくださった。

CS 野崎：動画の視聴がないことについて、近隣の方から話があった。著作権等の問題も聞いている。

学校長：動画については、学校主体で行うことはしない。  
動画配信をしたことで本当は映してほしくない家庭があるかもしれない。例えば動画配信の端にこづかれた等の姿が映っていて、裁判沙汰になることもある。裁判沙汰ともなれば学校の教育活動が滞る。今回は、学級閉鎖等もあったので、動画配信を行う。訴訟社会になりつつあり、苦しい状況である。未然に防ぐためもある。

CS 貞平：PTA 運営員会でも残念という話が出ていた。著作権等の手続きについて、見る人がダウンロードできないようにする。しかし、いろいろな方法でダウンロードすることができる。誓約書等を書くことも検討し、提案をした。学校主体じゃないと動画を配信することはできない。

CS 梶野：You Tube で校歌を上げるとなるとジャスダックの許可が必要になる。教育の一環として動画を撮ったものについては、流すことができる。「一定の範囲の許可を得ています」という署名をしたら次のサイトに進むようにするという方法がよいのではないか。

学校長：動画配信を流すことについては、ハードルが高い。業者が介入して、動画配信を行っている自治体もある。

CS 梶野：CS が行うのであれば、来年度から考えなければならない。

CS 伊藤：二中の音楽会は、DVD 販売がある。販売枚数等があるかもしれないが、販売があると、当日は気軽に見ることができる。

CS 梶野：DVD を残せば、ずっと見ることができる。子供の成長を見ることができる。

CS 安東：母親の目線で言うと、子供が小さいと動画を撮ることができない。訴訟のことは心配だが、DVDで残すことができると思う。

CS 貞平：業者に頼めばできることが多い。

CS 梶野：次年度、動画を残せるようにできるとよいと思う。

CS 森田：事前の校内確認が必要であると思う。明確にされていれば、業者に頼むこともできるのではないか。映してほしくない子供は、映さないとの配慮をする必要がある。

CS 伊藤：4月に家庭に取っている個人情報の取り扱いと照らし合わせて、映してほしくない児童は映さないようにする。台本との照らし合わせが必要である。

CS 梶野：DVDに残したいというのが、CSの意向でよいか。  
→CS 賛同

学校長：運動会でDVDをつくるのであれば、来年度話し合う。

CS 伊藤：演技を2階から撮れば、全体像がわかる。

CS 森田：保護者会で鑑賞することは、できないのか。その場で見れば、録画される心配がない。

CS 梶野：今後、行事を行っていくときには、様々な対策を考えていく必要がある。

## (2) 学校評価報告（報告者：副校長 板澤） →資料参照

### <質問>

CS 森田：校長先生が代わり取り組みが変わったが教員の変容は何かあるか。

学校長：子供たちの声で、主体的に授業を創っていく。先生方が授業改善をしていくために、指導案等の書き方を細かく指導しながら、指導の改善を図る授業を行うようにしている。

先生方が自走する組織になるように話をしている。また、様々なことについて管理職に聞いて動くのは自走ではない。このことについてはまだ途上ではあるが、よかれと思って動いても、その後の報告がないこともある。例えよい動きをしても、報告がないと暴走になると教職員には伝えている。

児童の自尊感情を高めるために、教員はどうしたらよいか考えることについても話をしている。

研究員という制度がある。図工科1名と体育科1名である。東京教師道場は道徳科のリーダー1名と体育科の部員1名である。この研修は、外部の研修に行くことになる。

CS 森田：道場って、あの道場ですか？柔道とかの？  
→板澤が教師道場について説明を行った。

CS 梶野：昔の状況と先生たちの取り組みが変わっている。横のつながりができているように感じる。人手があると、先生の負担も減る。

CS 森田：先生方が研修してきたことを指導に生かしている。

CS 伊藤：先生が生き生きすると、子供も生き生きすると思う。

CS 安東：先生方も勉強していることを、皆に発信するとよいと思う。

CS 森田：発信するのは大切であると思う。

CS 伊藤：息子が学校で叱られことについて家で報告をしてくる。そんなに怒らなくてもいいのにという内容の事もある。学校で指導された内容について、担任から面談で話を聞いた。先生方は、指導のベースがあって指導されていることがわかった。指導の根本の思いが保護者に伝わっていないのではないか。

CS 梶田：先生方の取り組みが保護者に発信できるとよい。

CS 安東：子供たちが先生方を誇りに思うと思う。

CS 森田：数字や文言だけで保護者は判断してしまう人がいると思う。子供がかわれば、親もかわると思う。板澤副校長の話を聞いて教師道場の話がよくわかった。もっと聞きたいと思った。

#### <その他>

CS 貞平：2023年度運動会・けやき祭での入退場について皆さんにお知らせします。

→資料参照

CS 野崎：運動会の会場から出る人が少なかった。

CS 貞平：受付の場所を1箇所にして、出入りはどこからでもできるようにするとよい。音響不具合による4年生表現のやり直しについて実施するのは良かった。ボランティアはメールを出せば、ボランティアが集まることが分かった。

CS 伊藤：ボランティアメールは、早めに出すとよい。

CS 梶野：南中のボランティアもよかった。

CS 伊藤：南中との挨拶運動とは？

学校長：南中の生徒会と本校の代表委員会と有志で朝の時間をつかってあいさつ運動を行った。挨拶が素晴らしいと折り紙の花をもらえる。

CS 貞平：中学生がテントの撤収を手伝っていて、よかった。

CS 安東：卒業すると小学校との関わりが減る。

CS 森田：安東さんのお嬢さんが手伝っている。

CS 安東：地域に恩返しをしたいと子供たちが思っている。そのような場があったのがよかった。

学校長：子供たちが関わるのは、前原小の特徴である。

CS 貞平：PTA 予算でテントの購入を考えている。

CS 村澤：町内美化清掃 11月19日地域の小学生が多く参加していた。コミュニケーションが取れた。保護者が子供たちに声をかけ参加していた。1時間たっぷり活動していた。

CS 森田：NPO 法人 連絡会 小金井市と協働  
昨年度 引きこもり支援  
今年度 関東大震災 100年ということもあり  
～災害に備えた～ゆるやかな連携  
小金井市協働講演会 各学校で避難所運営協議会が行われるとよい。

CS 梶野：子供たちは避難訓練を行っている。事業所ごとに防災訓練を行うとよい。  
消防署からも先生方も防災訓練を行うとよい。

CS 伊藤：3, 11の時に二中の子供たちがお台場にいた。お台場にある学校に泊まらせてもらうことがあった。

CS 森田：東中 防災訓練があった。防災トイレの設置のしかた。消火体験等があった。  
健全育成委員会が主催であった。来年度以降にできるとよい。

CS 貞平：校庭に防災トイレの設置をするときいているがどうなのか。

板澤：来年7月頃、工事予定である。

CS 梶野：鳥小屋撤去については、どうなっているのか。

CS 森田：周年までに綺麗にしたい。

板澤：鳥小屋については、市教委が視察済みである。

学校長：大熊教育長もご覧になっている。

CS 梶野：では、いろいろと話がありましたが、皆さんよろしいですか。

それでは、事務連絡を副校長お願いします。

→板澤：来月の内容について伝達。

CS 梶野：これで第3回前原小学校 学校運営協議会（コミュニティ・スクール委員会）を終わります。ありがとうございました。